

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われた方も、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。その際には、研究の対象とはしないように致します。

[研究課題名] 肘頭脱臼骨折に対するロッキングプレート固定の成績

[研究機関] 帯広厚生病院整形外科

[研究責任者] 本宮真（帯広厚生病院整形外科手外科センター長）

[研究の目的] 肘頭脱臼骨折は複雑な肘関節の損傷の1型で、前方脱臼と後方脱臼に分けられます。高エネルギーに伴って受傷することが多くあり、尺骨近位部の粉碎や鉤状突起・橈骨頭骨折・靭帯損傷の合併、高度の不安定性を伴う症例など様々な病態を呈し、通常の骨折とは異なり、治療に難渋するとされております。

近年、固定性の向上した解剖学的ロッキングプレートが治療に導入され、良好な治療成績が報告されておりますが、一部でまだ成績が不良な症例も存在します。最近このプレートを用いた報告が散見されるようになりましたが、詳細なX線の評価を行っている報告はほとんど認めません。

当院でこのプレートを用いて治療を行った肘頭脱臼骨折の治療成績を調査することで、より良い治療成績が得られる方法を策定していきたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：2012～2020年までに当院整形外科にて、肘頭脱臼骨折に対して解剖学的ロッキングプレートを用いて尺骨近位部の固定を行った12名12肘。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、病歴情報
- ②外傷の詳細
- ③手術の内容
- ④手術後の可動域・疼痛などの臨床成績とX線評価

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道帯広市西14条南10丁目1番地

JA北海道厚生連 帯広厚生病院

整形外科 担当医師 本宮真

電話 0155-65-0101